2009 年 1 月 26 日

会 社 名　セイコーホールディングス株式会社
代表者名　代表取締役社長 村野 晃一
(コード番号 8050 東証第 1 部)
問合せ先　専務取締役　中村吉伸
(TEL 03-6401-2111)

セイコーホールディングス株式会社による セイコーインスツル株式会社の株式交換による 完全子会社化に関する基本合意について

セイコーホールディングス株式会社（以下、SHD という。本店所在地：東京都中央区銀座四丁目 5 番 11 号、社長： 村野晃一、東証第 1 部上場）とセイコーインスツル株式会社（以下、SII という。本店所在地：千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目 8 番地、社長：新保雅文、非上場）は、株式交換による経営統合について合意に達し、本日、基本合意書を締結いたしました。
なお、今後両社協議の上、経営統合に向けた実行計画を立案し、2009 年 5 月初旬を目処に「SHD による SII の株式交換による完全子会社化に関する本契約書」を締結する予定です。

1. 株式交換による完全子会社化の目的

(1) 背景

SHD の前身である服部時計店（1881 年（明治 14 年）創業、1917 年（大正 6 年）株式会社となる）は、時計等の販売を事業として発足し、1892 年（明治 25 年)、附属工場として精工舎を創立、時計の製造に着手しました。輸入時計の卸・小売販売から出発した事業は、精工舎製品の販売ならびに輸出へ発展し、さらに精工舎の製造品目はクロック（掛・置・目覚まし時計）からウオッチ（懐中・腕時計）へと拡大していきました。
第二次世界大戦中の混乱を経て、1949 年（昭和 24 年)、㈱服部時計店は東京証券取引所に株式を上場し、公開会社となりました。㈱服部時計店は、SEIKO ブランドのウオッチ、クロックの国内販売・海外輸出を中心に、眼鏡光学製品等を取り扱い、小売部門は独立の子会社として㈱和光となり、精工舎も同様に㈱精工舎となりました。

そして、1983 年（昭和 58 年)、社名を㈱服部セイコーと変更し、さらに、1997 年（平成 9 年)、社名をセイコー㈱と変更ののち、2001 年（平成 13 年)、㈱和光、セイコーウオッチ㈱、セイコークロック㈱、セイコープレシジョン㈱等の純粋持株会社として新たな経営体制をスタートしました。
さらにセイコー㈱は、純粋持株会社の性格を明示するため、2007 年（平成 19 年）に社名をセイコーホールディングス㈱に改称し、今日に至っております。

一方、SII の前身である㈱第二精工舎は、1937 年（昭和 12 年）に SEIKO ブランドのウオッチ製造会社として精工舎から独立し、東京亀戸に設立されました。1970 年以降 CMOS-IC をはじめとする電子デバイス事業や計測分析機器事業への多角化を推進し、さらに 1980 年代には情報機器事業やプリンタ事業へ参入しました。また 2004 年（平成 16 年）に「雫石高級時計工房」を開設し、グランドセイコーやクレドールなどの高級機械式ウオッチの一貫生産体制を整備しました。
2004 年（平成 16 年）にセイコーインスツル㈱に社名変更し、今日に至っております。

なお、SHD・SII 間では、従来からウオッチを中心とする業務提携、ならびに資本提携が進んでおり、現在、SHD は間接保有を含め SII の株式の 21.7%を保有し、SII は SHD の株式の 5.2%を保有しています。

ウオッチ市場の成熟化、電子デバイス産業等の環境変化の状況下で、両社にとって今後、各事業の安定と更なる拡大を図っていくためには、経営統合により両社の事業構造の再構築を進め、収益の改善を図ることが最優先の課題であり、最善の選択であるとの結論に達しました。

(2) 目的

本件統合により、SII を含む SHD グループ各社はそれぞれ連携を深めることで各事業の持続的な成長と発展を目指します。
その達成に向け、収益の基盤であるウオッチ事業については、SHD グループのセイコーウオッチ㈱が保有する企画から販売に至るまでのマーケティングノウハウと、SII が時計製造を通じて培った高度な精密技術に加え、新たに液晶デバイスやマイクロ電池等の開発・製造ノウハウを融合することで、よりお客様から信頼され魅力ある商品を開発します。
更に商品企画から開発・設計・製造・販売までを一貫した体制で行う製販一体経営を推進し、商品の選択と集中、製造コストの削減を徹底することで、収益力の向上を図ります。

また、ウオッチ事業と並ぶ収益の柱になる事業の確立を目指して、SHD グループが共有する電子デバイス、精密機器、システム・ソリューション等の各事業において技術開発、事業拠点、国内・海外の販売ネットワーク等を相互に活用し、密接に協働することで、重複するコストの削減と収益の拡大を図ります。
経営管理体制においては、SHD グループ戦略の一元化、意思決定の迅速化、財務体質の強化、戦略的投資、人材の適材適所配置など、総合的な視野で最適な事業運営を図ります。

2. 株式交換の要旨

(1) 株式交換の日程

2009 年 1 月 26 日	両社取締役会において「SHD による SII の株式交換による完全子会社化に関する基本合意書」の決議及び締結
2009 年 5 月初旬	両社取締役会において「SHD による SII の株式交換による完全子会社化に関する本契約書」の決議及び締結
2009 年 5 月中旬～6 月末	両社定時株主総会において「SHD による SII の株式交換による完全子会社化に関する本契約書」の承認
2009 年 10 月 1 日	株式交換の予定日（効力発生日）

上記は現時点での予定であり、早期の経営統合の実現を目指し、効力発生日については上記日程の前倒しを含め、今後検討してまいります。具体的なスケジュールにつきましては株主総会における承認および関係機関の審査など経営統合に向けた諸手続きの進捗等に応じて、両社にて協議の上、決定いたします。

(2) 株式交換に係る割当ての内容

SHD を完全親会社、SII を完全子会社とし、SHD は新株式を発行し、株式交換による割当てに充当するものとします。
株式交換比率につきましては、外部専門機関の評価を基礎にし、今後両社で協議のうえ、決定いたします。

3. 株式交換当事会社の概要

商号	セイコーホールディングス株式会社	セイコーインスツル株式会社
事業内容	ウオッチ、クロック、眼鏡、スポーツ用品、精密機器等を扱う事業会社の経営管理	精密機器、電子デバイス等の製造販売
設立年月	1881 年 12 月	1937 年 9 月
本店所在地	東京都中央区銀座四丁目 5 番 11 号	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目 8 番地
代表者	代表取締役会長　山村 勝美 代表取締役社長　村野 晃一	代表取締役社長　新保 雅文
資本金	10,000 百万円	7,250 百万円
発行済株式数	普通株式　116,424,000 株	普通株式　20,000,000 株 優先株式（A 種）　7,500,000 株 優先株式（B 種）　5,000,000 株
純資産	512 億円（連結、2008 年 9 月末）	352 億円（連結、2008 年 8 月末）
総資産	2,414 億円（連結、2008 年 9 月末）	2,146 億円（連結、2008 年 8 月末）
決算期	3 月	2 月
従業員数	7,924 名（連結、2008 年 9 月末）	13,572 名（連結、2008 年 8 月末）
主要取引先	高島屋、JC PENNY 等、国内外の大手デパート、ナショナルチェーン 三城等、大手メガネチェーン ニコン、セイコーエプソン等の大手精密機器メーカー、その他	セイコーウオッチ㈱ Time Module (Hong Kong) Ltd. 大手通信機器メーカー、大手電気機器メーカー、大手輸送用機器メーカー等
大株主及び持株比率	三光起業㈱　18.2% 服部禮次郎　5.3%	服部禮次郎　15.7% 三光起業㈱　15.6%
主要取引銀行	㈱みずほコーポレート銀行	㈱みずほコーポレート銀行 ㈱三菱東京 UFJ 銀行 ㈱千葉銀行 ㈱三井住友銀行

当事会社間の関係等

資本関係	・セイコーホールディングス㈱は、セイコーインスツル㈱株式を 4,343 千株（うち間接保有分 2,803 千株）保有し、セイコーインスツル㈱は、セイコーホールディングス㈱株式を 6,014 千株保有しております。 ・セイコーホールディングス㈱はセイコーインスツル㈱優先株式（B 種）を 2,000 千株保有しております。
人的関係	・該当事項はありません。
取引関係	・セイコーホールディングス㈱の完全子会社であるセイコーウオッチ㈱は、セイコーインスツル㈱が製造販売する製品を仕入れ、販売しております。
関連当事者への該当状況	・直前事業年度末日において、該当事項はありません。 ・なお、今事業年度開始以降、セイコーインスツル㈱がセイコーホールディングス㈱の関連会社になったことに伴い、セイコーインスツル㈱はセイコーホールディングス㈱の関連当事者に該当しております。

最近３年間の業績　　（単位：百万円）

	セイコーホールディングス株式会社（連結）			セイコーインスツル株式会社（連結）		
決算期	2006 年 3 月期	2007 年 3 月期	2008 年 3 月期	2006 年 2 月期	2007 年 2 月期	2008 年 2 月期
売上高	213,726	209,154	213,966	274,398	259,539	240,521
営業利益	9,357	7,146	7,229	13,170	11,961	12,112
経常利益	8,563	7,386	7,265	12,018	11,423	10,003
当期純利益	9,206	9,922	3,216	7,608	2,815	1,794
１株当たり当期純利益（円）	79.27	85.46	27.72	381.88	126.08	58.30
１株当たり配当金（円）	10 円	15 円	15 円	17.5 円	10 円	10 円
１株当たり純資産（円）	476.33	548.87	418.14	811.68	1,001.56	968.42

4. 株式交換後の状況（予定）

(1) 商号

セイコーホールディングス株式会社

（英文名称：SEIKO HOLDINGS CORPORATION）

(2) 事業内容

ウオッチ、クロック、眼鏡、スポーツ用品、精密機器、電子デバイス、情報機器等を扱う事業会社の経営管理

(3) 本店所在地

東京都中央区銀座四丁目 5 番 11 号

(4) 代表者

代表取締役会長　山村 勝美

代表取締役社長　村野 晃一

(5) 決算期

3 月

(6) その他

その他の事項につきましては、今後、両社で協議のうえ、決定次第、公表いたします。また、SHD 及び SII は円滑な経営統合に向けて、速やかに両社の代表取締役社長を共同委員長とし、同委員長が指名する両社の役員を委員とする「経営統合準備委員会」を設置し、協議してまいります。

以　上